

【コラム】 ロボット支援手術

がんの手術治療は、がん患者の体への負担と合併症のリスクを最小限にし、回復の早い手術が求められています。低侵襲手術として、ロボット支援手術が進歩をみせており、ロボットによる繊細で精密な手術実施による手術成績の向上が期待されています。

ロボット支援手術の利点として、①傷が小さく痛みが軽度②手術後の回復が早い③手術中の出血量が少ない④手振れ防止による精密な手術の実施等が挙げられます。

今後、情報通信技術及び手術ロボットの発達により、術者が遠隔地の患者をリアルタイムで直接手術を行う等、質の高い医療の均てん化による医療水準の向上に寄与すると期待されています。

